

道路が大渋滞では市内企業が撤退しかねない！

狭山市は『工業団地のまち』のはず！

ホンダを中心とした工業団地が狭山市にあるお陰で、工業生産出荷高は、昭和57～平成21年まで県内1位（現在は5位）でした。法人税収入は、ピーク時の平成19年に56億円もあり、現在は19億円に下がりましたが、それでも他市に比べて財政が豊かなのは、法人税収入が多いからです。それなのに、道路整備は、他市よりも遅れています。有料橋の無料化は、そこを通る人やその地域のだけの問題ではなく、狭山市の財政などに大きく関わってきます。

企業が撤退した市では、雇用・税収・商業に大きな影響を与えています。日本はこれから人口が減るので、内需は縮小し、企業の存続は厳しさを増します。

超高齢・人口減少時代を乗り越えて行く（福祉・教育などの財源を確保していく）には、企業の撤退を避けなければなりません。渋滞で利便性の低い事もあって、狭山から企業が撤退してしまつては、困ります。

有料橋無料化実現に向けて、県議会で決議案を提案！

有料橋の無料化の1日も早い実現を目指し、昨年3月、決議案を作成、事前に他の会派にもお願いに回り、委員会で提案。しかし、今回は残念ながら、自民党会派が反対。否決されました。

市長選挙後の実現を目指して、署名活動

私が市議時代、有料橋の無料化について質問すると、市からは「県に要望している」との回答でした。しかし、県議になって、市は県に要望を出すだけで、交渉になっていない事が分かりました。

狭山市長 様
狭山市議会議長 様

狭山市が、狭山環状有料道路を無料にする手だてをこうじる事を求めます。

狭山市が何らかの財政負担をして、狭山環状有料道路が無料になる事を望み、署名します。

署 名	
お名前	ご住所

署名された個人情報は、これ以外の目的には使用致しません。

そこで、市長選挙（7月）後の有料橋無料化を目指し、署名へのご協力をお願いします。

署名を集めて下さる方も、募集致しております。ひろしまで、ご連絡下さい。

ご意見・ご相談はこちらへ↓

県議会 民主党・無所属の会

県議会議員

中川ひろし

電話 090-3310-9234

FAX 2958-8643

kids-dream@docomo.ne.jp

hnkgw@nifty.com

ひろし事務所

〒350-1308 狭山市中央4-25-4
（マルエツの通り。高柳会計さんの向かい。
選挙に関係なく常設）

中川ひろしホームページ

中川ひろし 検索

http://hiroshinakagawa.jp/

毎日の活動・発言を掲載！
ぜひ1度、ご覧下さい！

f も

●●● ケーブルTVに出演！ ●●●
『県政を考える』4月2日までの毎日
午後2時～、夜10時～（地デジ101チャンネル）

ひろし新聞 145号

2015年3月25日 発行者： 県議会議員 中川 浩（48歳）



『有料橋』編

狭山環状有料道路
有料橋

無料化を求める
署名活動にご協力を！

（この新聞に付いているハガキ・メールにて）

市民の声「なぜ橋が有料なの？おかしい」
橋が有料な為に、無料の橋の通りは、大渋滞！

西武文理小学校の通りから、国道16号に向かう渋滞



県議会で3度質問した結果、
『朝7～9時の無料化』策を、県は市に提示

国道16号から無料の橋に向かう渋滞



渋滞を避けようと、狭い道路の住宅街が抜け道に。交通量が多く、驚きます



抜け道になっている生活道路は、高校生も自転車で通っています



狭山市の2つの工業団地をつなぐ、狭山環状有料道路(通称『有料橋』)が有料(普通車150円、[大型車280円](#)、[大型トレーラー600円](#))である事により、その下流にある市道いるまがわ大橋の(西武文理小学校・至聖病院のある)通りは、朝は大渋滞し、渋滞を避けたい車両が生活道路に流入して、道幅が狭いことから事故也多発、非常に危ない状況にあり、住民が困っています。奥富や柏原地域、工業団地をはじめ市民の方々から「早く無料にして」との声を頂いております。

そこで、県庁職員に現場確認を頼み、市職員も同行。無料の橋の道路渋滞と、抜け道の交通量の多さを確認。抜け道になっている地区の住民の方が直接、県庁・市職員に説明しました。

県庁・市職員による抜け道の現地確認。困っている多くの住民の方が状況を伝える



◆昼間なら5分の道が、通勤時間は21分も! (無料の橋の通り)

有料橋の無料化実現を目指し、交通量も独自に調査しました。柏原の入間川に近い交差点(市浄化センター前)から、無料の橋を通り、国道16号の交差点を渡るまでの所要時間を調査したら、昼間の時間帯なら5分くらいで行けるのに、朝7時半～8時までは、平均21分もかかっていました。これでは、ガソリンのムダで、環境・経済的にも良くありません。

住宅街を抜け道として通る車は、7時半～8時の30分間で、250台にもなっており、尋常な状態ではありません。問題の解決には、有料橋を無料にする事です。

県議会で3度『有料橋』について質問!

有料橋の無料化について、県議に当選させて頂いて以来、これまで県議会で3回質問し、担当者と協議を重ねてまいりました。

有料期間は30年間と国で定めており、県で変更は出来ません。県議会で質問し、はじめ県は、残金32億円を狭山市が全額を一括で払う以外の方法ではダメとの事でした。(さいたま市にも、同様の有料橋がありましたが、市が約33億円を負担し、無料化しました)

しかし、協議を重ねたところ、「朝7～9時の時間の通行料金(年間約5千万円)を市が負担すれば、その時間無料にしてもいい」と、一昨年7月、県は新たな方針を市に提示しました。もう市が県に要望している段階ではありません。市が朝の時間帯の通行料金を負担するかどうかです。そこで、有料橋の無料化を求め、署名活動を行う事に致しました。無料になるまで、あと6年もあります。

▼狭山環状有料道路 基本データ▼

昭和62年に橋が開通

総事業費 56億円(うち、トンネル部分14億円)

未返済額 32億5千万円(平成25年度末)

年間料金収入

過去最大 3億4千万円(平成5年度)

最 近 2億4572万7千円(25年度)

料金所の管理費 年間4500万円

回数券(100回券)の割引率 17.7%

(実質123.4円)

有料期間 平成33年7月末(あと6年4カ月)

郵便はがき



差出有効期間
平成29年3月
31日まで
●切手不要

350-1390

狭山市中央4-25-4

県議会議員 **中川 浩**

お名前

ご住所

狭山市

電話番号

メールアドレス

ご意見・コメント

キリトリ線 ✂

